

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-30-7
TEL.03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

憲法守り、安倍政権の暴走ストップ！希望のもてる政治の転換を求め、医療・介護をはじめ、あらゆる活動で50回記念総会の年にふさわしい前進を勝ちとりましょう

第50回代々木健康友の会定期総会

10月23日、全理連ビルで代々木健康友の会の定期総会が開かれ、140人が参加しました。今年、第50回の記念すべき総会で、三部形式で行われました。



活発な討論でより豊かに決議案を採択

一人ひとりに寄り添い

無差別平等の医療と介護をめざし全国の経験に学ぶこと、友の会を大きくする「拡大月間」の取り組みについて、参加者に協力を訴えました。

一人ひとりに寄り添い

各界から多くの来賓がご出席され、代表して代田和博代々木病院副院長があいさつ、代々木病院の今後のありようについて語りました。医療と介護の制度改悪のなかで、国が国民のいのちを守る方向に無いなか、特に、急性期病院からの退院後、自宅への復帰と生活をどう守っていくのかが問われている。代々木病院は、地域を支える在宅支援病院としての役割がますます重要になっていく。安心してかかれる病院をめざすとともに、このろばん体操など、友の会のみなさんと健康づくりをすすめる、みなさんの拠

せない友の会へ

清見温子事務局長が一年間の活動報告をスライドショーで紹介。特に、地域の支え合い・助け合いを発展させた一年を振り返り、外苑診療所閉鎖前後の会員訪問活動や、地域の要求にこたえた代々木病院への送迎活動、地域の居場所づくりとして「げんき食堂」の開設が、みなさんから歓迎されていること。また、鳩森神社や地域のお祭り、商店会・町会との結びつきが

参加者から活発なご意見が寄せられました。「ころばん体操に参加しているが男性の参加者が少ない、囲碁や将棋サークルをつくったらどうか」、「病院の待合室がさびしい、経営は大丈夫か」、「年金の大改悪が狙われている、方針上はどうなっている」、「大事な人が次々と亡くなっている。人を育てるのは大

変、しっかりと自覚をもって自己管理を」など多彩な意見がだされました。一つ一つに丁寧に、布施会長、代田副院長が答えられ、議案はすべて満場一致で採択されました。

活動表彰は、「げんき食堂」で毎回欠かさずボランティアをしている金子由美子さんが受けました。あらゆる活動で前進させようと呼びかけた特別決意を採択、新役員の提案と選出後、代表して布施会長がさらに前進させていく決意を述べました。

(二部、三部については、三面に掲載)

代々木健康友の会 副会長 伊香忠志



新たに選出された新役員

千駄の萱

アメリカ社会に充滿している閉塞感や、人々が感じている生きにくさが、ここまで深刻だったとは。アメリカ人にも、トランプ氏を大統領に選ばないくらい良識はあるだろうと思っ

た。きちんと認識すべきは、クリントン氏が選ばれなかったのではなく、トランプ氏が積極的に選ばれたということだ。「選びようがないからトランプ氏に」と思う人はいない。近年のアメリカが「世界の警察」を担うべく行ってきた旧態依然とした政治よりも、滅茶苦茶だが何かが変わるかもしれない、一見、政治には微塵の興味もなく、金を儲けることにしか興味を持たない、ならず者に見える彼にアメリカ人は将来を託したのだ

一方日本では、憲法が、第九条が本当に変えられようとしている。悲しいことに、先日行われた、核不拡散条約準備委員会の核兵器の非人道性を訴えた共同声明に、日本は署名をしなかった。昨日まで当たり前に生活をしてきた人々が戦争に行かされ、人を殺し、殺される世の中に戻るということが現実味を帯びてきた。史上三度目に核兵器が落とされる場所が日本であれば良いが。(け)